



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

J P 子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2018年9月号)

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



やっと厳しい夏の暑さが一段落しましたが、相変わらず不順な天候が続きます。

地震や豪雨災害で被害に遭われた方々には、体調を崩されない様くれぐれもお気をつけ下さい。

今月号では、台風20号と21号の間をぬって開催された「ナツオワ（夏の終わり）キャンプ」のレポートをお送りします。

写真は、プログラム「森からのはがき」の1シーンです。

(目次)

1. J P 子どもの森づくり運動「ナツオワキャンプ2018 in 大野」レポート
2. 事務局からのお知らせ
どんぐり博士の「育苗日記」(2018年9月号)

■「J P 子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P 子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P 子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. 「ナツオワキャンプ2018 in 大野」レポート

2018年8月25日(土)、26日(日)の両日、福井県大野市「前坂キャンプ場」にて「J P 子どもの森づくり運動」の「ナツオワ（夏の終わり）キャンプ2018in大野」が開催されました。北陸地方は直前に台風20号が来襲し、開催が危ぶまれましたが幸い天候も回復してくれました。当日は、大野幼稚園の在園児、卒園児、お父さん、お母さん、約40名が参加してくれました。

1) プログラム：「森からはがき」



森で木や草の葉っぱを採取し、マーカーで好きな色や文字を書きます。



その葉っぱをフィルムにはさんで、パウチします。



はがきサイズに切り取り、シールを貼って宛先を書いて完成です。



「森のはがき」には、手づくりの切手が貼られ、同じく手づくりの森のポストに投函されます。

*「森のはがき」の宛先には、主に子どもたちの自宅の住所が書かれています。森のポストに入れられた「森のはがき」は、森の動物や妖精たちによって（実は、幼稚園の先生たちが本物の切手を貼って）、キャンプの思い出と共に子どもたちの手元に届きます。

2) プログラム：「野外料理」



みんなで材料を刻んだり、準備をします。



今回は、ダッチオーブン（鉄鍋）料理です。



お父さんたちは、一生懸命火おこしです。



完成！

3) プログラム : 「星空と虫の声」



森の中で寝転んで、暗闇の中で星を観察します。



森の中に布を張り、ライトをつけて虫を集めます。



いろいろな虫が集まって来ました。



こんなきれいな蛾も寄ってきてくれました。

* 当日はあいにくの曇り空で星はよく見えませんでしたが、都会では体験できない自然の暗闇体験は子どもたちにとって不思議な体験だったようです。

4) プログラム : 「ウッドクラフト」と「森の万華鏡」

特別講師の飯田女子短期大学 幼児教育学科 田中住幸准教授による自然体験講座です。



川原で流木や石を集めます。モデルになるバツカも捕まえました。モデルを参考に、拾ってきた木材でいろいろな作品ができました。



葉っぱや砕いた石を万華鏡に入れます。



自然の素材ならではの不思議な模様が見れました。

* 幹事園、及びプログラム運営：大野幼稚園 協力：前坂キャンプ場 後援：大野市 * 詳細はホームページに掲載中。

3. 事務局からのお知らせ

1) 「関東ブロック防災講座」参加者募集のお知らせ

「東日本大震災」から「北海道胆振東部地震」まで、今や、幼稚園・保育園、こども園における防災対策は待たなしです。今回は、そんな現状を踏まえて「J P子どもの森づくり運動」がお送りする防災研修会です。テーマは、“本当に子どもたちの命を救うための防災の仕組みづくり”です。災害は、いつ、どこでも発生します。大切な子どもたちの命を本当に守るための防災の仕組みづくりについて学び、一緒に考えましょう。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- ・主催（共催）：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（東京ゆりかご幼稚園）
- ・日時：2018年10月15日（月）9:00-11:30
- ・会場：「東京ゆりかご幼稚園」東京都八王子市七国3-50-2
- * 八王子みなみ野駅からバス 10分（八王子みなみ野駅～宇津貫緑地入口）
- * 参加ご希望の方は、事務局まで、電話、メールにてお申し込み下さい。（参加費無料）**



講師：鎌田修広氏
株式会社タフ・ジャパン代表
消防庁防災アドバイザー

2) 10周年企画第二次募集「保育ドキュメンテーション」作品

「J P子どもの森づくり運動」では、活動10周年記念企画の一つとして、幼児（少）期の子どもの自然体験、環境学習活動をテーマとした保育ドキュメンテーション作品を募集します。保育ドキュメンテーションとは、写真や動画を積極的に活用した保育における子どもたちの実践の記録です。世界的に注目されているイタリアのレッジョ・エミリア市におけるプロジェクト型幼児教育「レッジョ・エミリア・アプローチ」の実践ツールとして紹介され、現在、多くの保育の現場で、効果的な情報共有と発信が実現する保育改善のツールとして積極的に活用されています。活動10年目をむかえるにあたり、保育ドキュメンテーションの作成を通じて、これまでの活動を振り返り、あらためて保育における幼児（少）期の自然と環境の体験の意義について共に考えることを目的とします。お送りいただいた作品は、10周年記念冊子に掲載させていただきます。**応募の詳細は、ホームページにて案内中です。多数の応募をお待ち申し上げます。**

● どんぐり博士の育苗日記(2018年9月号) ～台風とスズメバチ～

1ヶ月前には考えられないような涼しい日が多くなってきました。こちら東北では、秋彼岸のはるか前に夏がどこかへ行ってしまった感覚です。相変わらず天候は極端から極端へと移り変わっています。子森ネット「どんぐり博士」：河内和男（森林インストラクター）



気温で見ると季節は足早に進んでいる感じですが、台風に関しては季節通りの襲来が続きそうです。台風といえバ21号、大阪を中心とした近畿地方の皆さんにお見舞い申し上げます。車や屋根がこんなにあっけなく飛ばされる映像を多数見たのは初めてです。このように、10月末までは、強大化した台風が強い勢力のまま上陸する恐れが高いです。警戒を怠らないでください。

続いて、今年の酷暑と駆け足の秋が相まって、心配が増大しているのがスズメバチです。例年も秋のスズメバチは危険といわれますが、その最大の理由は、今居る蜂たちは冬を越せず、冬を越すのはこの時期にふ化する女王蜂だけということです。秋のスズメバチの巣では、命のバトンを引き継ぐ女王蜂の育成と、その女王蜂と交尾するためだけに生まれてくる雄の育成という特別なことが行われている興奮状態です。また女王蜂を育てるためには、多くの餌が必要となり攻撃性が増すのです。

今年、さらに危険が大きくなっている理由は、まず酷暑と小雨で例年以上に集団（巣）が大きくなっていること。また、急激に気温の低い日が増えてくると、その合間の良い天気の日、集中的に餌を獲得することとなり攻撃性が増大してしまいます。

ですから、今秋の野外活動時、前日まで雨や気温が低かった後の良い天気の場合は、スズメバチの危険が大変高くなっていると、肝に銘じて活動に臨んでください。最低でもスズメバチ用殺虫スプレーを複数携帯することをお勧めします。